

(社)いわふね青年会議所 広報紙

あらうみ

2004年

元旦号

2004.1.1



新年のご挨拶

直前理事長

貝 沼 正 己

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は(社)いわふね青年会議所の活動に、多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげさまで会員一同、昨年のスローガンにあります通り「明るく自由に語り合い、未来を創造して行こう」で、のびのびと青年会議所活動に邁進する事が出来ました。これもひとえに地域、行政、企業、先輩諸兄、そして共に労と喜びを分かち合ったメンバーのおかげであると重ねて御礼申し上げます。

メンバーを対象とした指導力開発研修、中条・新発田・豊栄青年会議所さんとの合同でおこなった高校生を対象とした「JCスクール」の開催、そしてメイン事業としてやらせていただきました「EDOゲームを活用した青少年育成事業及び環境問題研修」。すべてがメンバー・この地域を担う子供たちと一緒に考えるという、思い入れのある事業展開でした。

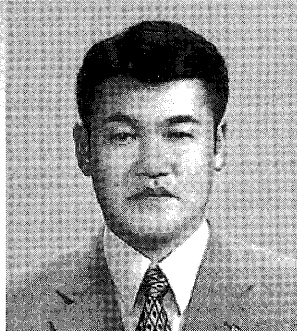
「EDOゲーム」では「江戸時代から学ぶ現代の忘れ物」というキーワードのもと、ゲームを通じて江戸時代を体験することにより、助け合って生きることを理解し、本当の豊かさとは何かを小学生と一緒に気づくことが出来た事業となりました。そして、アクティビティを通じ、多様な思いやりの心を持った地球市民としての一歩をあゆめたように感じております。

- 仲間への「思いやり」……助け合いの精神
- 地域への「思いやり」……地域主権
- 他国への「思いやり」……国際協力
- 他球への「思いやり」……環境問題意識

ひとつひとつが個人として、失ってはならない大事な心がけにつながったものと確信いたしております。ご協力いただきました村上小学校の皆さん、ご理解いただきました保護者の皆さん本当にありがとうございました。

最後になりますが、歴史ある青年会議所の理事長をさせていただき、本当に貴重な経験をたくさんさせていただきました。昨年一年間は私の人生の大事な宝物です。私を支えてくれた家族・会社・友人・OB諸先輩方・関係諸団体の皆様・地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度は太田理事長始めとする「2004 社団法人いわふね青年会議所」に更なるご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



新年のご挨拶

2004年度理事長

太 田 成 巳

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は(社)いわふね青年会議所の事業活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、私たちが子どもの頃に夢や希望を抱いた21世紀も4年目を迎えました。皆さんは、今の社会をどのように感じていますか。戦後半世紀を振り返った時、多くの人々が現在の生活にある程度の満足感を感じているといった見方がある反面、これまで国や地方の発展を支えてきた政治、経済、社会のシステムが様々な面で行き詰まり、社会全体の活力を失わせていると言われております。21世紀初頭は明治維新・戦後に続く大きな時代の転換期であることを認識しつつも、その将来に自信を持っていないことが、今の世の中に蔓延する閉塞感の原因の一つなのではないでしょうか。

だからこそ、ひとり一人が自らの価値と使命を理解し、明日への勇気を持つことが、次代への活力を生み出していく根源になると確信しています。いつの時代もその時代を切り拓いてきたのは青年たちであり、私は自分たちの可能性を信じています。なぜならば、我々の世代は、社会においての責任世代であり、JCの使命は、此処にこそあると考えます。私たちは、それぞれの地域に根ざした地域人であり、家庭人であり、企業人でもあります。混沌とした時代だからこそ、自分の愛する人のため、地域のために夢や希望を抱いた21世紀を現実のものとしていきたいと思っております。

今年は高校生を対象に、地場産業の見学や就業体験等の社会体験を通して、企業の経営者に学んでいただき、子どもたちの「生きる力」を育みたいと考えております。さらに地域には合併問題が曖昧模糊とした状況にありますがJCとして出来る事を積極的に取り組みたいと考えております。

そして家庭人としては、家庭、学校、地域、それぞれが教育活動の場としての役割を果たし、とりわけ家庭、学校、地域の連帯により子どもに対する社会の「教育力」を高めていかななくてはならないと考えています。また、「子どもは親の行為を映す鏡なり」という言葉に象徴されるように、子どもに強い影響力を与えているのは親であり、家庭教育は子どもの教育の原点だと思っております。

さらに企業人である私たちは、企業あつてのJCであることを忘れてはなりません。現実を直視し、企業を発展させていくための強い信念と明確なビジョンを掲げ、企業経営に携わるリーダーとしての自覚と行動が求められています。青年会議所活動を通して様々な知識の習得や社会情勢を的確に捉え、青年経済人としての資質向上に努め活動していく意義が必ずあると確信します。

最後に歴代理事長を始めとする、多くの先輩によって継承し守りぬかれて参りました(社)いわふね青年会議所を第37代理事長として受け継ぎ、メンバーと共に発展させて行く決意です。

未来創造事業

2004年度スローガン

「深めようLOM(同志)の絆、踏み出そう目の前の一歩を!」

次世代を担う子どもたちのために! 「EDOゲームを活用した青少年育成事業」

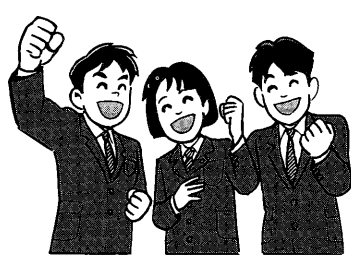
(社)いわふね青年会議所は青少年育成事業として小学生を対象にEDOゲームを行っています。この背景に現代は希薄な人間関係だといわれます。私達はこのゲームを通じ、物では測れない心の豊かさ、思いやりを大切にしたいという願いを込めて行っています。

具体的には小学生に江戸時代の長屋の住人になってもらい、火事や寺子屋、長屋の住人との共生を体験する事で人は助け合いながら生活していることを実感してもらう事が目的です。このゲームを体験する事により今以上に思いやりのある人へ、又これからの将来への足がかりとなれば幸いです。



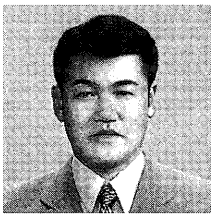
活気ある若い力で!! 「高校生を対象とした社会体験事業」

現在日本では少子化問題や失業率の増加等、将来に向けての不安材料が深刻化しつつあり、地方によっては人口流出という問題もかかえております。当地域においてもこれらの問題は例外ではなく、これから就職、進学される高校生にも地域の将来について考えていただきたいという思いからこの事業を企画致しました。郡市内の高校を対象にJCメンバーの所属する企業に職場体験をしていただき、地域の職場の良さや課題点等について考え方を学びながら、将来に向けての経験のひとつとして活かしていただきたいと思っております。

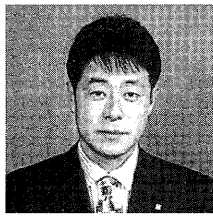


高校各位の皆様方にはご協力の程、よろしく申し上げます。

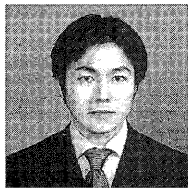
メンバー紹介



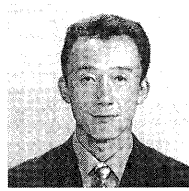
理事長
太田 成巳
墨石の石光



直前理事長
目沼 正己
御新和建設



専務理事
佐藤 学
㈱フォト・スタジオ新潟



副理事長
木村 浩一
㈱宮作



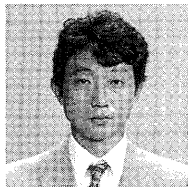
副理事長
大滝 哲也
大滝自動車工業㈱



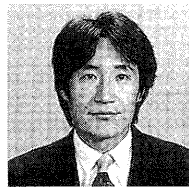
副理事長
鈴木 洋司
鈴木建員製作所



監事
田村 崇行
御米屋 新潟駅前店

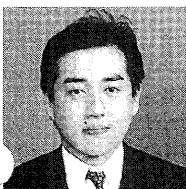


監事
鷺尾 辰弥
㈱鷺尾組



相談役
鈴木 敏明
㈱山木組

まちづくり委員会



委員長 渡辺 明
㈱わら竹

不況が続く、混沌とした経済状態や社会不安の中ではありますが、21世紀も4年目に入り、合併特例法の期限が目前にせまった今こそ、我々JAYCEEは、混沌という未知の可能性を切り拓くべく、これからのまちづくりを真剣に考え行動するときではないでしょうか。

2004年度まちづくり委員会では、高校生を対象とした社会体験を推進します。この事業は、JCメンバーの企業を受け口として、高校生に地元企業の職場体験を通して、この地域の職場の良さや課題点などについて考え方を学びながら、将来に向けての経験のひとつとして生かしていただきたいと思います。またJCメンバーの企業として今後の雇用促進の参考になればと考えております。広域合併についてもさらに研修を重ね、JCとして、これからのより良いまちづくりを提言していけるよう努力してまいります。

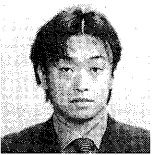
JC三信条「修練」「奉仕」「友情」のもと、「明るい豊かな社会」の実現のために1年間頑張ってくださいますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



副委員長 今井 伸一
㈱大進建設



土谷 孔秀
静雲荘



高橋 透
メガネの愛眼堂 村上店



丹 大輔
㈱丸橋



永田 強
㈱永徳酒販

スキル向上委員会



委員長 小林 儀裕
共栄不動産㈱

昨今の景気が低迷している中、なぜJCに入っているのか?人に聞かれる事があります。実際、我々(社)いわふね青年会議所も会員減少の一途を辿らざるを得ない状況にあります。この状況下のもと、一人の青年として又一人のJAYCEEとして、手をこまねいているのではなく打破していく事が必要だと考えております。JC宣言には「混沌という未知の可能性を切り拓き...率先して行動する」とあります。未知の可能性を切り拓くにはスピード、行動力が求められます。失敗したらと、何もなければ物事は始まりません。私は今年一年失敗を恐れず挑戦していきたいと考え、委員長になりました。時には恥をかかなくてもいい、時には、人に迷惑をかけてしまうかもしれませんが、しかし挑戦して失敗したとしても、失敗から学ぶ事が吸収し、その事を糧に進む事が大切だと考えております。人間として成長する事が、そしてよりよい地域社会を築く事が私の願いです。失敗を恐れず、頑張りぬく所存であります。

当委員会では、より良いJAYCEEとなる為に又地域社会の発展に寄与する為に今年一年、経営者としての資質向上を図るセミナーの実施を考えております。又次世代を担う小学生を対象に、EDOゲームを活用した青少年育成運動をおこなっていきたくと考えております。最後に茶人、千利休が残した言葉を心に刻みたいと思います。「恥を捨て、人にものを問う習うべし、これぞ上手のもといなるべし」この言葉を胸に共に学び、励まし合い、切磋琢磨していきましょう。



副委員長 小野 力
㈱村上塗装工業



渋谷 隆
㈱渋谷工務店



大越 和広
旭電工㈱

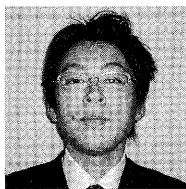


横井 賢
㈱新和開発



平間 保智
㈱扇屋旅館

事務局



事務局長 畑田 利巳
齋友

“企業あつてのJC”(社)いわふね青年会議所では、2004年度、企業発展のため強い信念と明確なビジョンを持って、企業経営リーダーとしてその資質向上に努め活動して行きます。

本年度、事務局ではホームページの運営・活用、メールリストでの会員相互の連絡円滑化、ペーパーレスによる会議運営のスリム化、会のスムーズな運営のバックアップ、当会・各事業が効率よく運営されるように正確で迅速な事務・総務を念頭に置き、一年間事業に取り組んでまいります。



事務局次長 安藤 成
ホームサービス ひまわり



事務局次長 松田 郁子
朝日物流㈱



竹内 歩
㈱千渡理

拡大交流委員会



委員長 高橋 聡
北越運送㈱

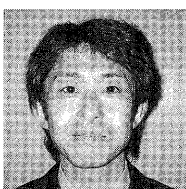
私たちjayceeにとって青年会議所に入会して何より良かったと感じるのは、青年会議所が自分自身を成長させてくれる場と気付くときではないでしょうか。JCは常に新たな乗り越えるべき目標を与えてくれます。それを乗り越えるための自己修練をする事が出来ます。そして、そんな自分を支えて、指摘し、アドバイスをしていただける多くの仲間、先輩方がいます。

長引く不況や社会構造の変化のなか、会員拡大事業は厳しいのが現状です。ただ単に組織の維持のためだけではなく、同じ目的に向かって進む仲間を募ること自体が、JC活動としての本質と考えます。こんな時代だからこそ他にはない素晴らしい経験が出来る組織である事を、自信を持って発信し伝えて行きます。

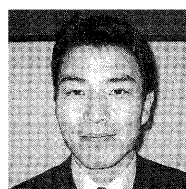
LOMメンバー全員が責任と自覚を持って会員拡大事業に携わっていかねばなりません。理事長基本方針の「新入会員10名以上達成」に向けて活動して行きましょう。

また、会員交流としてLOMメンバー全員が相互の理解を深め、自分自身の殻を破り、(新)の自分を発見できるような交流をしたいと思います。

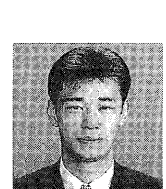
そして、各青年会議所や地域の皆さんとより良い関係を築きたいと考えます。「今の自分から一歩前に進めるJC活動」が出来る事に感謝します。そしてこの思いを持って、会員拡大・交流活動をして行きたいと思います。



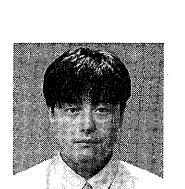
副委員長 時田 康弘
時田陶器㈱



副委員長 斉藤 彰
㈱ホテル夕美荘



貝沼 栄司
貝沼総合保険



永田 雄司
㈱永徳



斎藤 直久
村上信用金庫

JC会員募集

JCの3信条は、奉仕・修練・友情です。20歳～40歳までの青年が集まっているいろいろな活動をしています。この地域に密着して「明るい豊かな社会」を創り上げることを目標とし、会員相互に協力し合ったり、議論し合ったり、いっしょに苦労したりしながら一生の仲間作りをしています。

本当に楽しく自己研鑽のできる場です。こんないわふねJCに興味を持った方、いっしょに活動したい方は是非ご連絡下さい。お待ちしております。

- 事務局/村上商工会議所内事務局 岡田 TEL.0254-53-4257
- 担当委員会/拡大交流委員会 高橋 TEL.090-2228-8649